

IV 公園区域、先行整備エリアと導入機能

1 公園区域

本公園は、2002年（平成14年）サッカーワールドカップの京都府の会場候補地として、平成7年度に30.9haを都市計画決定しています。その際、北側区域は、スタジアムの配置が可能な区域を計画しています。

現区域は自然再生が必要な山砂利採取跡地であるため、まちの中にはない生物多様性の保全や里山における子どもの遊びや体験・学習など、都市公園として求められる機能を配置するには、西側の既存山林部分も一体的に都市公園とすべきと考えられ、現都市計画公園区域を拡大し、一体的な計画を策定します。

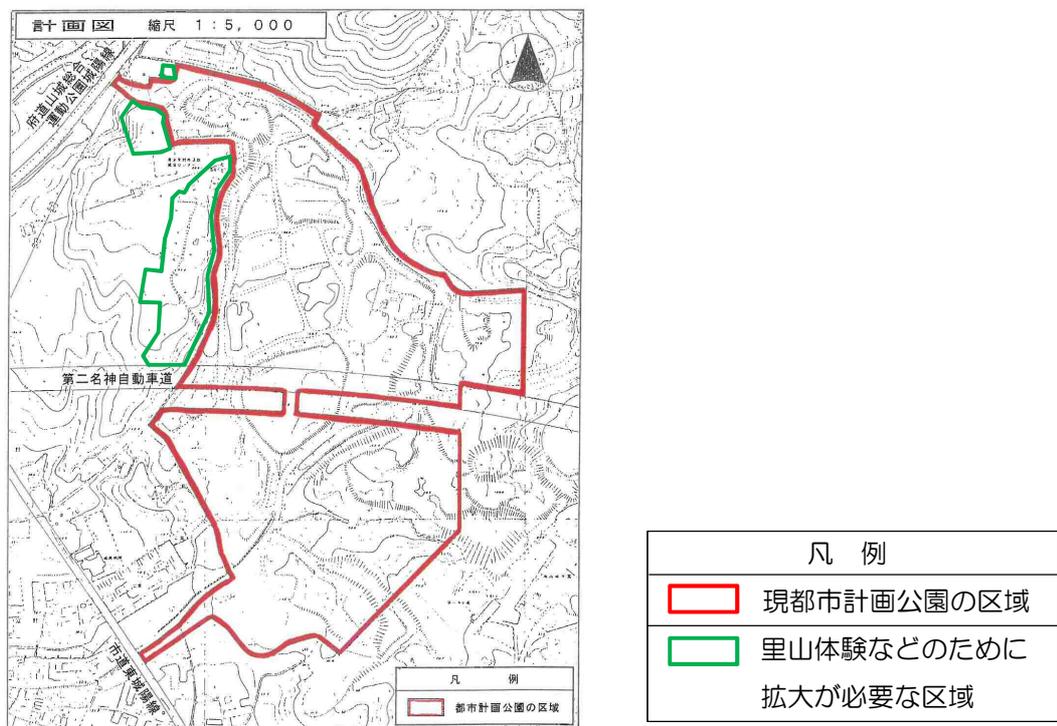


図 IV-1 現都市計画決定（平成7年度）と拡大が必要な区域



（左：北側区域中央部、右：北側区域西側の既存林）

図 IV-2 現在の北側区域の状況

2 整備エリア

北側区域の内、用地を取得している西側部分（下図①）、東部丘陵線に面する南側区域の公園センター部分（下図②）及び北側区域と南側区域を接続し一体化を図る南北連絡橋（下図③）を「先行整備エリア」とします。将来的に民間開発のタイミングに合わせて整備を行う北側区域の東側部分を「将来構想エリア」とします。

北側区域の「先行整備エリア」は、山砂利採取跡地であった部分は造成を行って平面利用する「造成エリア」、既存林が残る部分は自然地形を利用する「森林エリア」とします。南側区域の公園センター及び大型車駐車を「南側区域の再整備エリア」とします。

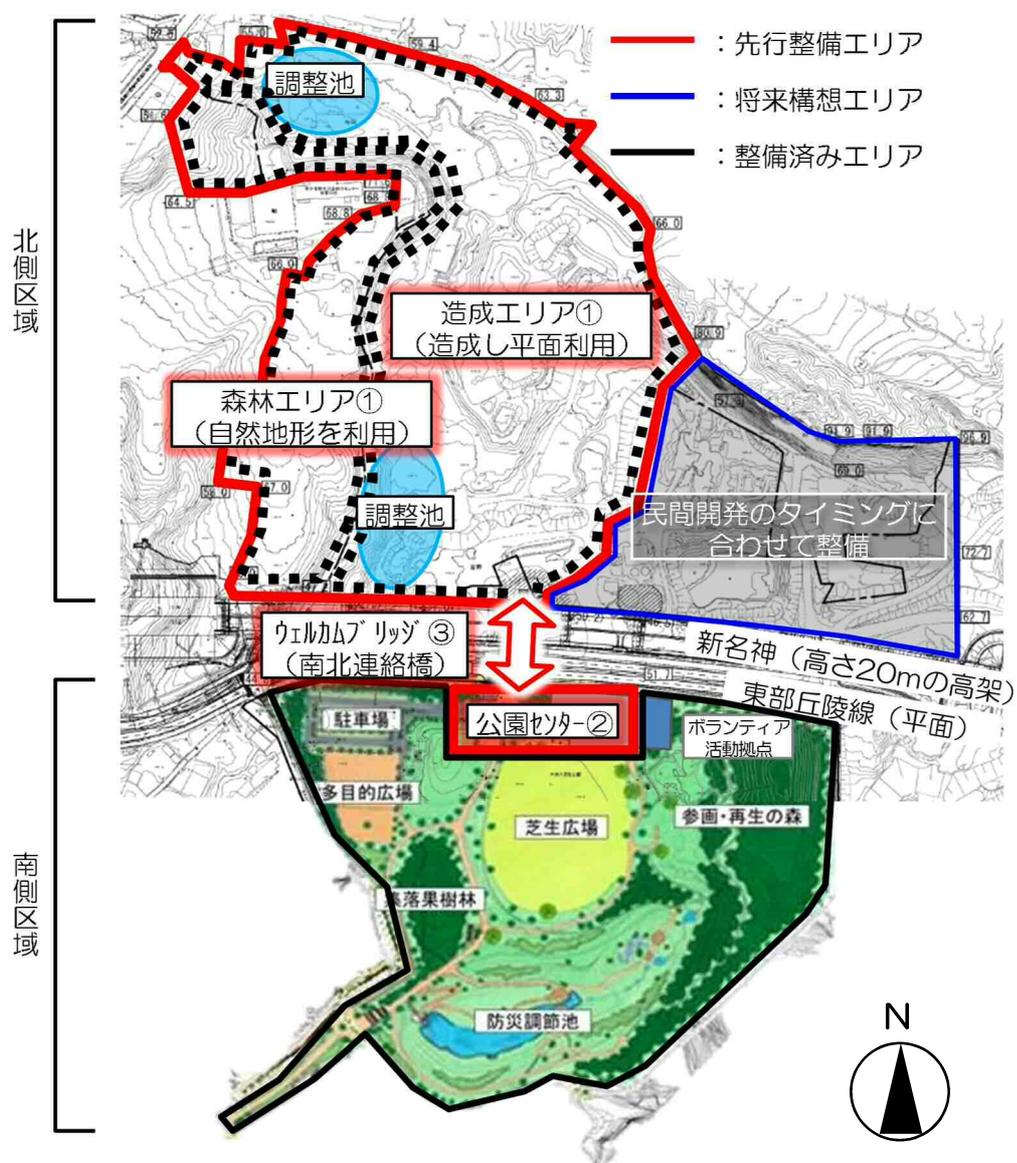


図 IV-3 整備エリア

3 導入機能の考え方

木津川運動公園に導入する機能については、18ページ以下に示した北側区域の新たな整備方針、懇話会での意見、サウンディング型市場調査及び府民アイデア募集結果を踏まえ、東部丘陵地の中間エリア（センターゾーン）等の開発状況に合わせた柔軟な対応を念頭に、新たなまちづくりが進められつつある東部丘陵地の玄関口として、周辺環境や地域と連携し相乗効果を生み出す公園を目指して策定します。

今、多世代に求められている本公園の方向性を実現するため、「コロナ禍による新しい生活様式などの課題」に対応しつつ、「子育て支援」、「健康長寿・健康づくり」、「自然体験・学習」を主要な柱として、ライフスタイルを再構築する空間（公園）を形成し、京都府南部地域の「賑わい・地域振興」を創出する導入機能を計画します。この他、施設整備等の公園づくり、活用プログラムの提供や管理運営を組み合わせ、方向性全体の実現を図るものとします。

これらの機能を互いに連携させて地域、世代間の交流を図り、生活に必要なファーストプレイス（例えば家）、セカンドプレイス（例えば職場や家事、学校や保育園）以外の、社会全体で子育てを温かく見守るサードプレイス（居心地の良い居場所）となる空間を目指します。

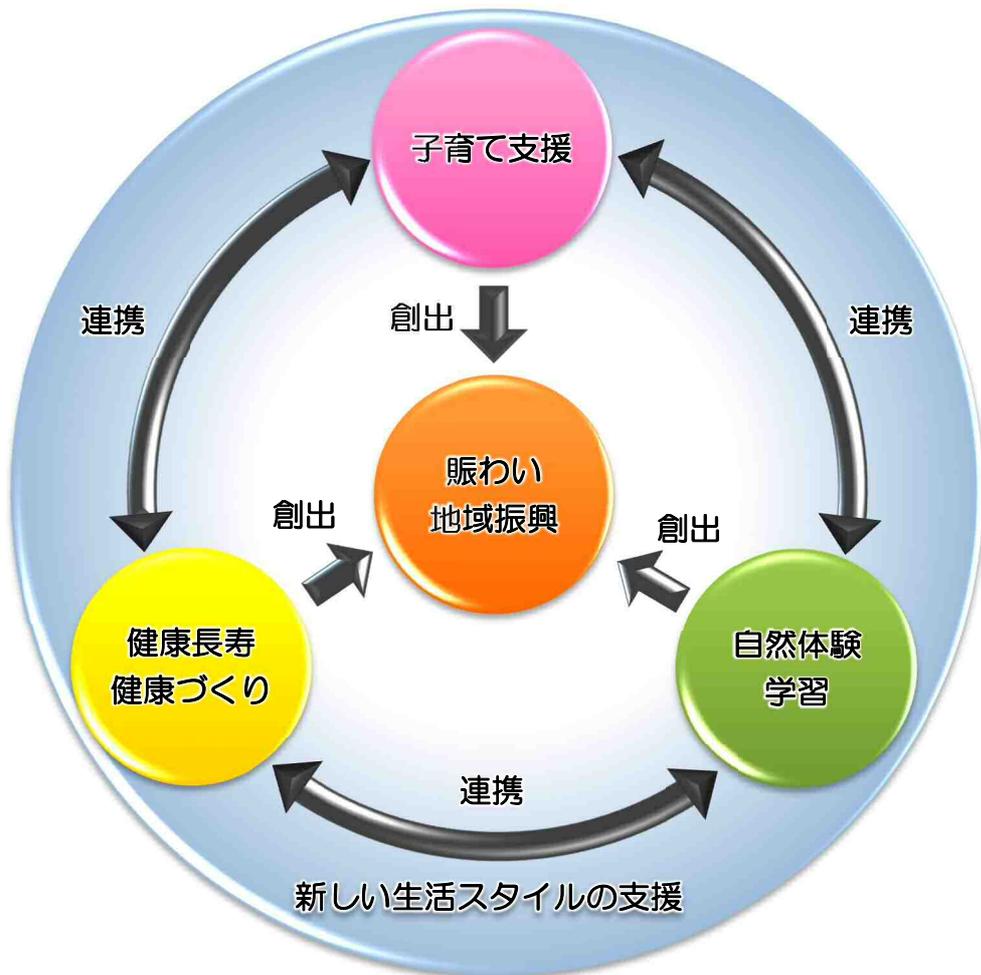


図 IV-4 本公園の新たな整備方針を実現する導入機能の概念



図 IV-5 木津川運動公園と周辺施設

4 基本機能（必須設置）と向上機能（民間提案）の設定

導入機能を、必ず設置すべき機能（施設）と民間事業者からの提案を期待する機能（施設）に分類します。

公園の目指すべき姿、方向性を実現していくための核となる機能（施設）を基本機能（必須設置）、民間事業者の提案により本公園の魅力や利便性を一層向上させる機能（施設）を向上機能（民間提案）とします。

なお、現時点で想定されるイメージであり、民間事業者の自由な提案により施設や活用プログラムを確定していきます。

5 北側区域及び南側区域の導入機能

(1) 先行整備エリア

ア 子育て支援機能

子どもの心身の健全な発達に関わる遊びや体験、読書や学習などの文化活動の機会を創出するとともに、地域との交流、子育て世代のサポートやコミュニティを創出し、親子のサードプレイス（家庭や学校・職場等以外の居心地の良い場所）となり、子育てを支援する機能

《施設》ハード施策

(7) 基本機能（必須設置）

- ・強い日差しや雨天時でも遊びやイベントが可能な「大規模屋根付広場」
- ・親子のふれあいや、自由な遊びができる「芝生広場・遊具」
- ・読書や学習などの文化活動、コミュニティの場となる「休憩所」



国営武蔵丘陵森林公園



広町みらい公園

施設イメージ（左：大規模屋根付広場、右：遊具）

(イ) 向上機能（民間提案の例）

- ・絵本図書室やカフェを併設した、小さな子どもの遊びや親子のふれあいの場となる「室内遊戯施設」
- ・楽しみながら体を動かすことができる「アドベンチャー施設」 等



提供：(株)ポーンランド



提供：(株)ポーンランド

施設イメージ例（左：室内遊戯施設、右：室内遊戯施設）

《取り組み》ソフト施策

- ・子どもの発育に大きく寄与する遊びや、自由な発想を刺激する活用プログラムの提供
- ・地域振興機能や自然体験・学習機能と連携した食育、学習、体験
- ・親子の触れ合いや地域との交流を図る教室やイベントを通して、交流の輪が広がり、親子の居心地の良い空間を提供 等

イ 健康長寿・健康づくり機能

誰もが気軽に運動を楽しむことができる機会を創出し、心身の健康づくりや生涯現役を目指した健康長寿を支援する機能

《施設》ハード施策

(ア) 基本機能（必須設置）

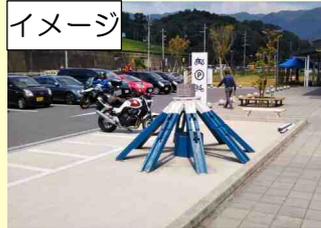
- ・安心して楽しみながら運動できる「ウォーキング・ランニングコース」
- ・発着拠点、目的地となる「サイクリングステーション」

イメージ



別所沼公園

イメージ



道の駅お茶の京都みなみやましろ村

施設イメージ例（左：ウォーキング・ランニングコース、右：サイクリングステーション）

(イ) 向上機能（民間提案の例）

- ・情報技術（AI、IoT）を活用した「新しい運動施設」
- ・基本機能と一体となって健康づくりを支援する「フィットネスジム」や「ランニングステーション」
- ・天候にかかわらず運動が可能な「屋内運動施設」
- ・広い空間を活かした文化イベントの開催が可能な「屋根付き運動施設」等

イメージ



提供：NSシェアードサービス（株）

イメージ



提供：ミズノジム

イメージ



提供：ミスノフットサルプラザ和田岬

施設イメージ例（左：運動教室、中：スポーツジム、右：屋根付き運動施設）

《取り組み》ソフト施策

- ・公園の景観や緑の効能を生かしたパークフィットネス
- ・賑わい・地域振興機能と連携した、食生活改善や遊びを通じた運動
- ・アスリートやインストラクターによる体力に応じた運動指導や、子供向け運動教室
- ・誰もが一緒になって活動・交流できる運動プログラムやイベント
- ・日本遺産「日本茶 800 年の歴史散歩」を巡るサイクリング観光 等

ウ 賑わい・地域振興機能

南側区域も含め公園全体の利便性と魅力を一層向上させるとともに、広域利用者に地域の魅力を発信し、公園と地域の賑わいを創出する機能

《施設》ハード施策

(ア) 基本機能（必須設置）

- ・ウエルカムブリッジ（南北連絡橋）と一体となった、公園の景観を活かした「レストラン・カフェ」、「地域物産館」
- ・様々な催し開催により交流を広げる「イベントスペース」



大阪城公園



南池袋公園

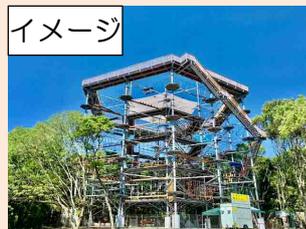


提供：(株)ファーマーズ・フォレスト

施設イメージ例（連絡橋と一体となった飲食施設、レストラン・カフェ、地域物産館）

(イ) 向上機能（民間提案の例）

- ・多世代の楽しみを提供し、公園の魅力を向上させる屋内外の「アミューズメント・アクティビティ施設」
- ・公園利用の利便性に寄与する「小売店舗」や、新たな利活用を図る「文化・教養施設」等



提供：万博 BEAST



国営武蔵丘陵森林公園

施設イメージ例（アスレチックタワー、セグウェイツアー）

《取り組み》ソフト施策

- ・地域の交流を広げ、賑わいを創出する地域のマルシェや文化などの多様なイベント開催
- ・農作物、畜産物、工芸品や観光情報など、広域利用者に地域の魅力発信
- ・地域食材を活かした飲食提供による魅力発信と食育
- ・地域のものづくりと連携による付加価値の創出と地域交流

工 自然体験・学習機能

山砂利採取地の自然再生、まちの中にはない生物多様性の保全や自然とのふれあい・体験、公園と隣接した野外活動施設との連携により、子供の心身の健全な発達を促すと共に、自然との共生を実感できる幅広い世代のアウトドアの活動の機会を提供する機能

《施設》ハード施策

(7) 基本機能（必須設置）

- ・「自然体験や農業体験」の場となる、既存林を活かした里地里山の復元
- ・自然との共生を実感し、心の安らぎを提供する「緑地、植栽」

イメージ



国営ひたち海浜公園

イメージ



提供：(公財) 青少年野外活動総合センター

イメージ



提供：(株) ファーマーズ・フォレスト

施設イメージ例（活動拠点となる古民家、自然体験、農業体験）

(1) 向上機能（民間提案の例）

- ・公園の個性を表現し魅力を向上させる「花修景」
- ・野外での交流を図るキャンプやバーベキュー等の「アウトドアレジャー」
- ・心身の健康づくりに寄与する自然を活かしたアクティビティ 等

イメージ



提供：京阪園芸（株）

イメージ



提供：(株) 初亀

施設イメージ例（花修景、バーベキュー）

《取り組み》ソフト施策

- ・自然との共生を実感し想像力と豊かな心を育む、植物や生き物との触れ合い
- ・里地里山での体験活動を通じた生活文化や物質循環の学び、地域振興機能と連携した食育
- ・子どもの自由な発想と遊びを引き出すプレイリーダーの育成
- ・生きがいつくりや親密な交流を図る、花壇や里地の育成・管理活動
- ・地域の多様な主体の参画による自然再生活動 等

オ 新しい生活スタイルの支援機能（向上機能）

働き方改革や WITH コロナ等に対応した、勤務時間や場所に左右されない新しいワークスタイルや、オフィススタイル等を支援する機能

《施設》

(ア) 向上機能（民間提案の例）

- ・テレワークに対応する Wi-Fi などのアクセススポット
- ・公園の景観を活かしたサテライトオフィス（テレワーク、会議、企業研修） 等



提供：（株）スノーピーク

施設イメージ例（CAMPING OFFICE）

《取り組み》

- ・テレワークの合間を利用した健康づくりやリフレッシュ
- ・緑の効能や開放感を活かした、企業による会議や研修など公園の新たな利活用と平日利用の促進

(2) 将来構想エリア

カ 先行整備エリアを補完する機能

民間開発のタイミングに合わせた整備により、先行整備エリアの機能を補完し、相乗効果により公園の魅力を上向きさせる機能を誘導します

《施設》

(ア) 誘導機能（例）

- ・公園及び周辺商業施設と連携した温浴機能、宿泊機能
- ・ニーズの変化に対応した運動施設 等

先行整備エリアや南側区域と相互利用を図り、一体となって周辺環境との連携を生み出し、本公園の魅力や利便性の向上を目指すものとします。

(3) 整備済みエリア（南側区域）

キ 生涯スポーツ・レクリエーション機能

府民の健康増進、多様なレクリエーション活動を通じての余暇活動の充実・交流活動の促進や創出等を目指す。大芝生広場でのインパクトある空間を形成し、来園者が自由にくつろげる魅力ある空間づくり

《施設》

(7) 整備施設

- ・大芝生広場
- ・遊具、多目的広場

ク 学習の森（ビオトープ）

調整池の多機能利用を積極的に目指し、修景池として美しい水辺景観を創出し、憩いの空間とするとともにビオトープとして自然環境の修復を図る。府民との協働による自然生態環境の修復活動を通じて、環境学習プログラムを展開し、学習の森を整備

《施設》

(7) 整備施設

- ・修景池、流れ
- ・学習の森 等

《北側区域との連携》

ウエルカムブリッジ（南北連絡橋）で結ばれた北側区域と南側区域が一体となって、本公園の「目指すべき姿」や「方向性」の実現を目指します。

南側区域の大芝生広場を活かした南北区域が一体となったイベントの開催や、多様な機能の導入や連携による公園内の回遊性の向上により、一日楽しめる公園を目指します。また、ウエルカムブリッジを経由して南北区域が一体となったウォーキング・ランニングコースの整備など、施設の連携も図って行く考えです。

6 先行整備エリアの導入機能のまとめ

先行整備エリアの「基本機能（必須設置）」と「向上機能（民間提案）」の例を以下に示します。

表IV-1 基本機能（必須設置）と向上機能（民間提案）の例

基本機能 〔必須設置〕	子育て支援	子供の楽園（ <u>大規模屋根付広場</u> 、芝生広場・遊具、休憩所）
	健康長寿 健康づくり	ウォーキング・ランニングコース、サイクリングステーション（茶いくる関連）
	賑わい 地域振興	<u>ウェルカムブリッジ（南北連絡橋）と一体となったレストラン・カフェ・地域物産館</u> 、イベントスペース
	自然体験 学習	緑地、 <u>植栽</u> 、既存林の保全と自然体験、農業体験
向上機能 〔民間提案〕	民間事業者からの提案を期待するものの例	
	子育て支援	有料遊具、室内遊戯施設、図書・研修室、職業体験 等
	健康長寿 健康づくり	フィットネスジム、ランニングステーション、球技場（野球、テニス、フットサル） 等
	賑わい 地域振興	コンビニエンスストア、美術館、屋外劇場、梅園、アミューズメント施設、ARアトラクション 等
	自然体験 学習	グランピング、キャンプ、バーベキュー場、ジップライン、花修景、ペットカフェ、ドッグラン 等
	新しい生活 スタイルの 支援	サテライトオフィス(テレワーク、会議、企業研修) 等

—（下線）：ランドマーク

7 基本機能配置例（参考イメージ）

現時点で想定されるイメージであり、民間事業者の自由な提案により施設の内容及び配置を確定していきます。

ア 子育て支援機能

遊び場
学び場

交流
サポート

子育て環境
日本一

① 施設

- 強い日差しを避ける大規模屋根付広場（人工芝）
- 親子がふれあう芝生広場・遊具・休憩所

② 利用

- 小さな子供の安心・安全な遊び
- 大規模屋根付広場での様々なイベント




大規模屋根付広場
（国営武蔵丘陵森林公園）

大型遊具
（広町みらい公園）

イ 健康長寿・健康づくりの機能

オープンハウス
緑の景観

運動
スポーツ

健康長寿
健康づくり

① 施設

- 南北区域が一体となったウォーキング・ランニングコース
- サイクリングステーション（茶いぐる関連）

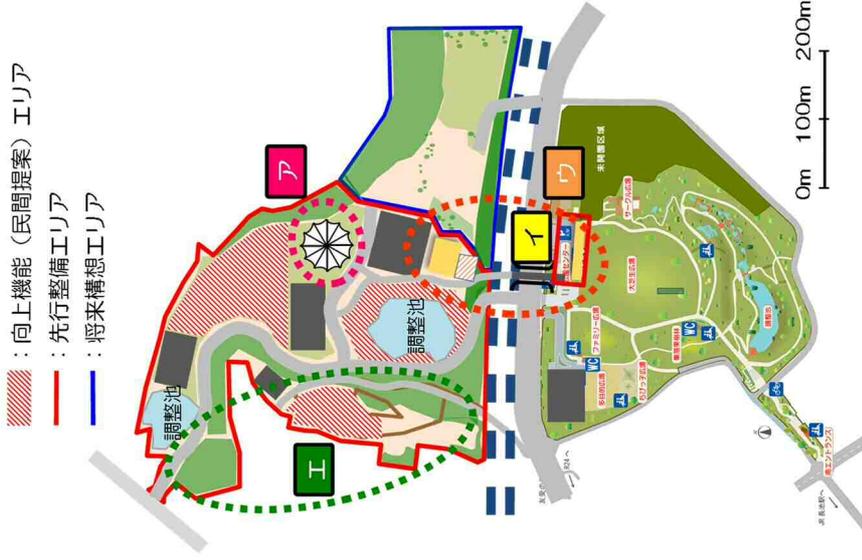
② 利用

- 公園の起伏や緑の景観を活かしたウォーキング・ランニング
- 広域サイクリング観光の休憩ポイント、発着拠点




ウォーキング・ランニングコース
（国営武蔵丘陵森林公園）

サイクリングステーション
（道の駅お茶の京都
みなみやましろ村）



ウ 賑わい・地域振興機能

飲食
物販

ものづくり
イベント

賑わい
地域振興

① 施設

- ウエルカムブリッジ（南北連絡橋）と一体となったレスラン・カフェ・地域物産館、イベントスペース

② 利用

- 地域のものづくりと連携した食材や物産の魅力発信
- 広域利用者を取り込む滞在型観光




連絡橋と一体となった飲食施設
（大阪城公園）

地域物産館
（提供：㈱アール・フォレスト）

エ 自然体験・学習機能

自然再生
里地里山

ふれあい
体験

自然体験
学習

① 施設

- 既存林を活かした里地里山の復元
- 活動拠点となる古民家移築
- 心の安らぎを提供する緑地、植栽

② 利用

- 里地里山における自然体験、農業体験
- 山砂利採取跡地の自然再生




活動拠点となる古民家
（国営ひたち海浜公園）

自然体験
（提供：（公財）青少年
野外活動総合センター）

各機能の連携による相乗効果